

Day 3
11月20日(金)

The 9th Design Conference

Design Analysis

The 9th Design Conference Design, Analysis & Seismic sessions
第9回 デザインコンファレンス
設計・解析・耐震セッション

基調講演



「そうだったのか！！
「国土強靭化と
地域創生は車の両輪」

～国土強靭化の様々な施設と
地方版強靭化計画を解説～

元初代国土強靭化担当大臣 兼議員 古屋圭司 氏

著者：吉川弘道

9:30-10:30

基調講演書、「そうだったのか！！「国土強靭化」」を紐解き、国土

強化の様々な施設と地方版強靭化計画を解説する。成長戦略としての
国土強靭化、エネルギー・リサイクル等から新ビジネスの可能性を。

「国土強靭化」は具体的な地方で展開されその事業が
解説される。国土強靭化4Sのプログラムでは災害対策のすべてが網羅さ
れている。

Profile...運営議員、初代国土強靭化・防災担当大臣、成蹊大学経済学部卒業、大手
保険会社を経て、東急建設専門会員、株式会社建設監査委員に「監
査会員」に昇進。土木学会・土木学会会員監査委員会会長、
次世代エネルギー・システム促進議員会会長、自由党エネルギー・資源委員会会長、
全国議院議員会議員会長、他 多数

著者：吉川弘道（元初代国土強靭化担当大臣）（成蹊大学PHD研究所）
(ナレーター改革による教育正常化への道)（成蹊17年PHD研究所）

応募・選考スケジュール



特別講演 1
13:15-14:05
「メンテナンスから情報が構造物の
長寿命化を可能とする」

元初代国土強靭化担当大臣 兼議員 古屋圭司 氏

特別講演 2
14:05-14:55
「VR技術を援用した走行型計測車両によるトンネルマネジメント
トソルマネジメント」

特別講演 3
14:55-15:20
「WCWMSStudioとフォームエイト最新FEMソリューション」

ジェイアール東日本コンサルタンツ 教導役会長
東日本旅客鉄道(株)副社長 石橋 誉哉 氏
鉄道のわが国開拓100年、明治50年、平成22年、令和14年となる。明
治時代は、輸入された鋼材と、国内の鋼材が主な材料として使われてき
た。正時から、国内の鋼材とコンクリート構造物が造られた。今でも、わ
たなつおり、さらに引き継がれていく予定である。一方、1970年代から大量に造
られた構造物の中でも、材質や工法の違い、しかし、今では技術が十分進み、
なかなかの耐久性をもつものも問題が目立つている。しかし、今では技術は十分進み、
これらの方の耐久性もよくなくすることは十分可能であり、また新規構造物には対応も進
り、適切に点検し、外廻りしていくいるものがあるためには、これは必ず進む
必要である。次段階が発見されたら、直線的な対応のみでなく、新規や直前の既設構造
物に適切に対応することが重要である。

Profile...70年日本を有機注入、87年日本本格導入、コンクリート鉄筋の設計・施工・管理な
どの分野に於ける研究開発および技術開発に貢献し、IR日本を通じて、多くの若葉賞に賜
り、土木学会等、学協会にも多く務める。



特別講演 2
14:05-14:55
「VR技術を援用した走行型計測車両による
トンネルマネジメント」

バシフィックコンサルタンツ株式会社 事業創造本部
品質・技術検査センター 技師長 兼主幹研究員 安田亨 氏
紹介する技術は、レーザー、カメラ、レーダーを搭載した多機能走行型計測車両
(MIMMR)によりトンネル変状を計測し、取得した膨大なデータをもとにVR技術
を援用して、レーザー点群3Dマッピング化、壁面画像の自動合成、変形・背面空間な
どの正確な位置情報による3D表示などを実現している。これらの多様的な結果を総合化し
て、走行型計測車両による走行型計測技術である。

Profile...8年バシフィックコンサルタンツ(株)入社後、30年トンネル会社(設計、顧客管理など)
に在籍し、実績は品質・技術検査センター長として「0720走行型計測車両の導入に
携わる。新規電子化システム開発による「トンネルマネジメント」に貢献する研究」
に定評。実績は品質・技術検査センター長として「0720走行型計測車両の導入に
携わる。新規電子化システム開発による「トンネルマネジメント」に貢献する研究」

The 2nd National Resilience Design Award NöRDA

National Resilience
Design Award

The 2nd National Resilience Design Award
第2回 ナショナル・レジリエンス・デザイナード各賞発表と表彰式

審査員プロフィール

吉川 弘道

審査委員長
東京都市大学 災害科学工学研究室 教授
コロナド日本大手町
1959年群馬県立大学卒業。博士(工学)。昭和大
学准教授。工学専攻。工学博士。昭和大
学、地震工学研究会会長、日本地盤学会会長、
地震工学会会員。日本地盤学会会員、
文部省など受賞。群馬県防災会会長、
NPO法人群馬県研究会会長、熱研
研究会会長として活躍中。



鵜飼 恵三 氏
群馬大学大学院 工学研究科 災害科学
1959年群馬県立大学卒業。博士(工学)。昭和大
学准教授。工学専攻。工学博士。昭和大
学、地震工学研究会会長、日本地盤学会会長、
文部省など受賞。群馬県防災会会長、
NPO法人群馬県研究会会長、熱研
研究会会長として活躍中。

応募・選考スケジュール

10月9日(金) 作品応募締切

応募基準・提出物
「作品名」「作品概要」「150文字～200字程度」「ポスター」「A1横
(日本語または英語)」「報告書」「解析手法」「A4データ(結果アドバイス)
(データ)」「模型名」「7ページ以内」「動画」「PPTなど(任意)」

提出物送付先
〒108-6021東京都港区南2-15-1 品川インターシティA棟6F
(株)フォームエイトシステム富澤グループ 第四回ナショナル・レジリエンス・デザイナード受付係
窓口

10月19日(月) ミネート作品審査会

審査員による評点、協議により
ノミネートを決定

ホームページで同日結果発表

10月19日(月) ノミネート作品審査会

審査員による評点、協議により
ノミネートを決定

ホームページで同日結果発表

11月17日(火) 審査会 審査員受賞作品選考会

対象製品

FEM解析

Geofeas

LEM3D

VCFLOW

xFswmm

UC-winRoad

VR-CLOUD

3DCAD Studio

FEMLLEG

Alpian

Engineer's Studio

XP-SWIMMER

各賞・賞品

グランプリ

優秀賞

審査員賞

ノミネート賞

優秀賞